

安城発！大玉・高糖度の梨

安城梨「甘ひびき」収穫スタート！

【7月26日（金）／安城市内で収穫風景をご紹介します】

JAあいち中央梨生産部会（部会長：野々山聡）が栽培する安城梨「甘ひびき」の収穫が、7月下旬から始まります。「甘ひびき」は、同部会の部会員である安城市の猪飼孝志さんが育成（開発）したものです。大玉で糖度が高いことが最大の長特です。

同部会では、今年15トンの出荷を予定。当JAのファーマーズマーケットでんまあと刈谷南・安城北部・安城西部、産直センター「道の駅」デンパーク安城の4店舗で7月下旬から8月上旬まで販売します。2017年からは安城市のふるさと納税の返礼品となっています。今年は適度な降雨と日照があったため、大玉で高品質なナシの出荷が予想されます。



一つ一つ丁寧に収穫します

「甘ひびき」とは

「甘ひびき」は、安城市橋目町の猪飼孝志さんが極早生品種の梨「愛甘水」をもとに育成し、2010年3月に品種登録されました。（「愛甘水」も猪飼さんが育成した梨です）

<「甘ひびき」の魅力>

- ・「幸水」よりも大玉で、大きいものでは800g以上
- ・糖度は高いもので13度以上あり、甘味が強い
- ・水分量が多く、シャキシャキとした食感



たわわに実る「甘ひびき」

JAあいち中央梨生産部会

部会員：78人（内、「甘ひびき」栽培農家51人）

栽培面積：約34.1ヘクタール（内、「甘ひびき」は約2.1ヘクタール）

総出荷量：約141トン（内、「甘ひびき」は約16.5トン）（2023年度実績）

流通先：「甘ひびき」の多くは、当JAの、でんまあと刈谷南・でんまあと安城北部・でんまあと安城西部・「道の駅」デンパーク安城で販売します。「甘ひびき」以外の梨は主に中京市場を通じて、愛知県と岐阜県を中心に販売します。

<メディア対応日>

日時：2024年7月26日（金）午後2時30分

集合場所：JAあいち中央ファーマーズマーケットでんまあと安城北部
（安城市東栄町4-5-15）

※取材当日は、安城市内の「甘ひびき」園（車で約10分移動）で収穫風景の撮影と生産者へのインタビューを予定しています。

※防犯上の都合により、場所が特定される外観の撮影、町名の表記等はお控えください。

※天候や作業状況等により、日時・集合場所が変更になる場合があります。

（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。

JAあいち中央総合企画部企画課広報強化対策室（担当：山村、杉浦、細井）

TEL：0566-73-5504／携帯：080-3667-3853／E-mail：kouhou@jaac.or.jp